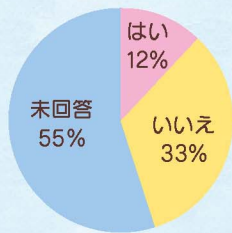




調査からわかったこと

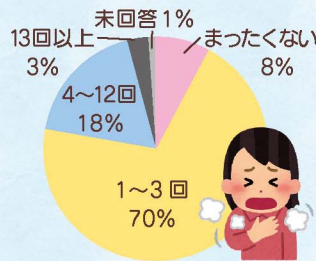
エコチル調査北海道ユニットセンターの参加者のみなさまにご回答いただいた質問票から、調査結果の一部をご紹介します。
(なお、このデータは、2021年12月14日現在の回答に基づく暫定的な数字です。回答数:5,714)
6歳質問票から、お子さんのアレルギー症状と自宅の室内環境について集計しました。

お子さんは、この1年のあいだに、胸がゼーゼー・ヒューヒューしたことがありますか？



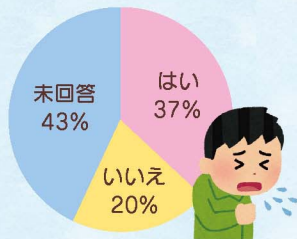
ゼーゼー・ヒューヒューしたことがあるお子さんは全体の12%、ゼーゼー・ヒューヒューしたことがないお子さんは33%でした。

ゼーゼー・ヒューヒューする発作が起きた回数はどのくらいでしたか？



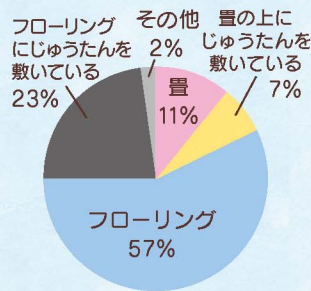
ゼーゼー・ヒューヒューしたことがあるお子さんのうち、発作が起きた回数は、1~3回が最も多く、70%でした。4~12回が18%で、13回以上のお子さんは3%でした。

この1年、お子さんはくしゃみや鼻水、鼻づまりの症状が起こったことがありますか？(風邪以外で)



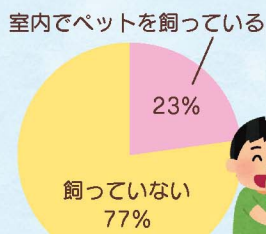
風邪やインフルエンザの時以外でくしゃみ・鼻水・鼻づまりになったことがあるお子さんは、全体の37%でした。

お子さんの寝室の床はどのような素材ですか？



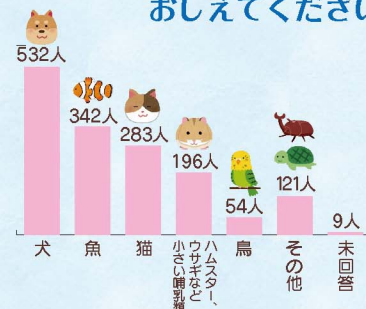
フローリングが最も多く、全体の半分以上を占めました。フローリングや畳の上にじゅうたんを敷いている部屋は30%でした。その他にはジョイントマットやコルク、クッションフロアなどがありました。

室内でペットを飼っていますか？



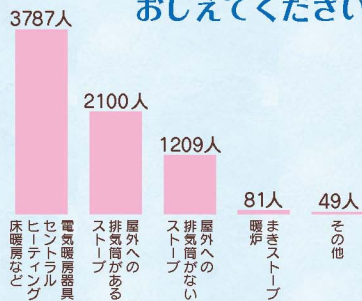
室内でペットを飼っている家庭は23%でした。飼っている家庭と飼っていない家庭は、およそ2:8の比率です。

室内で飼っているペットの種類をおしえてください。(複数回答)



犬が最も多く、次に多かったのが魚でした。猫は3番目に多く、4番目はハムスターやウサギでした。その他の中には、カメや昆虫、サンショウウオなどがありました。

リビングやお子さんの寝室の暖房器具の種類をおしえてください。(複数回答)



セントラルヒーティングや蓄熱式の暖房、床暖房などを使っている住宅が多く、次に多かったのが屋外への排気筒があるストーブでした。

***** ミニコラム *****

(参考)一般社団法人 日本小児アレルギー学会「小児ぜん息治療ガイドライン」

小児の喘息は、6歳までに約80~90%が発症します。喘息をきちんと治すためには、早い時期に正しい診断に基づいた治療を始めることが大切です。

ゼーゼー・ヒューヒューの症状を伝えるときのポイント

ゼーゼー・ヒューヒューの症状があるときは、次の①~③についても観察し医師に伝えましょう。

- ①どんなときにゼーゼー・ヒューヒューする?…風邪をひいたとき/寝入り/明け方など
- ②どんな音がする?…ヒューヒュー/ゼーゼー/ゼロゼロ/ゴロゴロ など (息を吸うとき/吐くときのどちらか?)
- ③ゼーゼー以外の症状は?…発熱/鼻水/おう吐 など